

令和5年度 第12回へきなん市民環境会議定例会 会議録

と き 令和6年3月7日(木)

午後7時～午後8時

ところ 碧南市役所談話室2, 3

司 会 角谷

○出席者 13名

○欠席者 2名

1 全体協議

(1) 碧南きづなめぐについて【場所；明石公園 令和6年3/10(日)9:00～予定】

テント1張分借用、3ブース出展【環境宣言、食品ロス、地球温暖化防止啓発】

ブース使用料金 7,800円【長机5本、椅子8脚】

パソコン【事務局用意(リモートワーク用)】モニター【角谷準備】

【参加者】竹原、角谷、高田、岩戸、杉浦捨、中根、須田、鈴木恵(PM)

・集合時間：8時(専用駐車場) 8時30分までに現地入り準備開始

・きづなめぐスタッフ専用駐車場が変更になった。

アイシン精機新川工場第3駐車場から第1駐車場に変更

※6時30分から駐車場案内係員が2人配置されているので案内に従ってほしい

・テント近くのぼかぼか茶屋に電源があり、そこから各テントへ配線されるのでコードリールが必要となる可能性がある。

※事務局で10mの電源コードを準備する。

・関係者駐車場は遠すぎるので明石公園の駐車場は利用できないのか？

・基本的に明石公園の利用者が駐車する場所なので、きづなめぐ関係者はアイシンの関係者駐車場でお願いしたい。

※事務局の公用車は明石公園駐車場に止めておくので何かあれば対応する。

・他用意するものはあるか？へきなん市民環境会議の啓発物品(ポケットティッシュ、ボールペン)各200程。のぼり旗、錘、ポール。

へきなん市民環境会議のA3パネル(イベントに関連するA3パネルは準備)

取り付け作業で必要：ビニール紐、ハサミ、養生テープ

環境宣言グッズ。事務局で準備しておく。明日の14:00頃受取り(高田)

(2) 令和6年度 植木市について【令和6年5月11日（土）10:00～14:00】

※集合時間と参加人数の把握

- ・ 昨年同様ドーム内で行うので雨天決行。
- ・ 7時30分集合。
- ・ 参加者【竹原、角谷、高田、杉浦捨、中根、鈴木恵、菅原、岩戸】8人
- ・ 並ぶ客をドーム内に配置することで、昨年よりスタート時のスペースが狭くなる
- ・ 苗を希望の方は無料配布整理券を持参してください。
- ・ 先着でアンケートに答えると無料水耕栽培キットがもらえるイベントがある。

(3) 令和6年6月1日号環境月間広報記事について

- ・ 配布資料を確認の上、意見があれば事務局へ伝えて欲しい。
- ・ 広報に掲載されるスペースは決まっているのか？

A：与えられるスペースは決まっていない。へきなん広報担当課がすべての掲載記事を考慮して決定しているので、載らない記事もある。

(4) 令和5年度事業報告の提出依頼及び令和6年度事業計画について

- ・ 令和5年度事業報告については3月10日のきづなめぐイベント後、提出できると思いますので速やかに提出をお願いします。

- ・ 令和6年事業計画について

7月27日（土）元気ッスへきなんで打ち水大作戦を行うにあたり、去年はボランティアの数が足らなかったのを増員して欲しい。

バケツも足らなかったのを今年度中に購入することは可能か？→可能である

- ・ 9月22日（日）きづなめぐイベントは室内で行う。開催場所：アイクル。
- ・ 自然観察会は年3回予定。

初夏 6月16日（日）：エコパーク

秋 11月24日（日）：岡崎東公園

春 2月9日（日）：前田公園

(5) 令和6年度油ヶ淵水環境モニタリング上半期担当について

	4/7(日)	5/5(日)	6/9(日)	7/7(日)	8/4(日)	9/8(日)
1	竹原	高田	角谷	竹原	竹原	角谷
2	中根	中根	中根	角谷	杉浦捨	高田
3	加藤	加藤	加藤	高田	鈴木恵	杉浦捨
4	鈴木恵	鈴木恵	須田	杉浦捨	岩戸	岩戸
5	須田	須田	岩戸	菅原	菅原	菅原

2 その他

(1) 油ヶ淵水環境モニタリングについて【令和6年3/3(日)9:00 鷺塚公民館】報告
担当：高田、杉浦捨、須田、加藤、岩戸

- ・ 3月3日モニタリングを実施。測定地点は4か所となった。
- ・ ㉓地点→⑮地点→㉑地点→㉒地点の順番で行う事とする。
- ・ ⑮地点では、対向車が来た場合、車両がすれ違えないので、㉓地点を終えた後もしくは調査開始時に㉑地点に人員をあらかじめ配置し、対向車両が来ないような対策をする。
- ・ 今後モニタリング調査をしていく中でベストな方法を模索する必要性がある。

(2) ボランティア保険について

- ・ 4月から1年間有効。天災Bコースで注文した。

(3) 食品ロスの情報提供(前浜ライス)について

- ・ 竹原からの説明
- ・ 今年は気温が暖かかったからか稲刈り後の稲に身が付き収穫できた。
2回目に収穫できたお米については子ども食堂で使用したとの事。
- ・ 2回目のできたお米については何の問題もなく、普通に食べることが出来たという。
- ・ 来年もそのようなことがあれば食品ロスに繋がるので積極的に伝えていき協力事業者を応援したい。

次回開催 令和6年4月4日(木)

碧南市役所談話室2、3